

日時：2012年8月25日（土）15：00～

場所：東洋大学第一会議室

日本パーソナリティ心理学会第106回常任理事会

出席者：浮谷秀一理事長、堀毛一也副理事長、小塩真司、中村真、松田英子、向田久美子、
山崎晴美、渡邊芳之

事務局：加藤司（事務局長）

欠席者（委任）：二宮克美、藤田主一、太幡直也（幹事）

報告事項

I 各種委員会報告

1 機関誌編集委員会（渡邊芳之）

(1) 機関誌編集委員会の開催状況について

「パーソナリティ研究」第21巻2号の掲載論文を決定した。

(2) 「パーソナリティ研究」の発行状況について

1) 「パーソナリティ研究」第21巻1号の発行状況について

パーソナリティ研究第21巻1号は8月上旬までに会員に発送された（発行日は2012年7月30日）

2) 「パーソナリティ研究」第21巻2号の発行状況について

パーソナリティ研究第21巻2号は12論文（原著4本、資料3本、ショートレポート5本）であり、7月24日に国際文献印刷社に入稿した。

番号	掲載番号	種別	題目	筆頭者	受稿	受理
A-267	21-2-1	原著	高校生の自己分化度がネガティブライフイベントの嫌悪度に及ぼす影響の検討	工藤浩二	2011/1/4	2012/4/2
A-287	21-2-2	原著	目標志向性が学業的援助要請、ピア・モデリングに及ぼす影響	岡田涼	2011/9/12	2012/4/15
A-235	21-2-3	原著	認知方略の違いが対人関係における動機、目標志向性および対人行動との関係に及ぼす影響	光浪 睦美	2010/1/20	2012/6/4
A-270	21-2-4	原著	大学生における動機づけ調整方略	梅本貴豊	2011/2/4	2012/7/10
B-71	21-2-5	資料	友人関係における動機づけが対人葛藤時の対処方略に及ぼす影響	本田周二	2011/3/13	2012/3/29
B-62	21-2-6	資料	装いの枠組みによる瘦身の心理的機能と効用についての確認—体型結果予期の分類および瘦身願望との関連	鈴木公啓	2010/6/22	2012/5/28
B-56	21-2-7	資料	アタッチメントの内的作業モデルと仮想的 有能感の関連	島義弘	2009/11/20	2012/7/10
S-185	21-2-8	ショートレポート	日本人のゆるし (forgiveness) と文化価値関連概念との関係性	上田光世	2010/7/3	2012/3/21
S-215	21-2-9	ショートレポート	学校生活の諸領域に対する適応と重要度認知の因果関係—交差遅延効果モデルによる検討	岡田有司	2011/10/2	2012/3/29
S-213	21-2-10	ショートレポート	自己価値の随伴性と累積的な達成度が動機づけに及ぼす交互作用効果	大谷和大	2011/9/12	2012/3/29
S-217	21-2-11	ショートレポート	ストレス負荷後の記憶に及ぼす不安の効果	林明明	2011/11/24	2012/4/2
S-216	21-2-12	ショートレポート	Cloningerのパーソナリティ7次元とIQ—遺伝要因と環境要因の重なりから—	敷島 千鶴	2011/10/28	2012/6/7

(3) 「パーソナリティ研究」の編集状況について

1) 「パーソナリティ研究」第21巻3号以降の編集状況

8月23日現在での採択論文は4本ある。審査中の論文は45本で、うち修正採択修正中が7本ある。11月頃には掲載論文を決定して印刷作業に入りたい。

2) 投稿状況について

昨年9月から8月23日までの投稿状況は以下の通りである。

年	月	原著	資料	ショートレポート	展望他	合計	備考
	9	8	0	2	0	10	
	10	1	0	2	0	3	
	11	3	0	1	0	4	
	12	3	1	0	0	4	
2012	1	0	1	0	0	1	
	2	4	0	0	0	4	
	3	2	1	4	0	7	
	4	4	1	4	0	9	
	5	0	0	2	0	2	
	6	1	0	1	0	2	
	7	3	3	2	0	8	
	8	0	0	1	0	1	8月23日
合計		29	7	19	0	55	

3) 審査状況について

昨年9月から8月17日までの審査状況は以下の通りである。

年月	採択	要修正再審査	不採択	投稿取下	備考
2011/9	0	13	0	1	
10	5	3	5	0	
11	1	20	2	1	
12	7	11	1	0	
2012/1	4	7	1	1	
2	2	8	1	1	
3	4	5	1	0	
4	3	3	5	2	
5	1	4	0	0	
6	2	10	4	0	
7	5	8	5	0	
8	3	7	1	0	8月23日
合計	37	99	26	6	

2 経常的研究交流委員会（加藤司事務局長代理報告）

特になし。

3 広報委員会（小塩真司）

(1) 大会企画

タイトル「パーソナリティとナラティブー日本神話をめぐってー」

話題提供者：鎌田東二（京都大学） 家島明彦（島根大学）

指定討論者：小塩真司（早稲田大学） やまだようこ（立命館大学）

(2) YPP2012

前日開催のYPP2012の準備を順調に進めている。

4 国際交流委員会（向田久美子）

(1) 第21回大会企画

1) 招待講演

講演者：ヒューベルト・ハーマンズ（ナイメーヘン・ラートボウト大学心理学部 名誉教授）

日時：10月6日（土）15：30～17：00

タイトル：The dialogical self: Positioning and counter-positioning in a globalizing world

2) 特別ワークショップ

講師：アグニエスツカ・ハーマンズ-コノプカ（国際対話的自己研究所プログラムディレクター）

日時：10月6日（土）13：15～15：15

タイトル：Composition Work with Dialogical Self as an “artistic road” in practice

(2) 委員交代

新委員（第21回大会～第24回大会まで）

田中麻未（千葉大学） 守谷順（アントワープ大学・日本学術振興会） 高橋雄介（京都大学）

向田久美子（駒沢女子短期大学）

5 学会活性化委員会（加藤司事務局長代理報告）

(1) 大会企画

「パーソナリティ心理学の未来を探して」

話題提供者：小塩真司（早稲田大学）・岡田涼（香川大学）・文野洋（文京学院大学）・市村美帆（東洋大学）・佐々木淳（大阪大学）・国里愛彦（早稲田大学）・吉澤寛之（岐阜聖徳学園大学）・太幡直也（常磐大学）・金政祐司（追手門学院大学）・松島公望（東京大学）・桂瑠以（お茶の水女子大学）・大久保智生（香川大学）・武田美亜（青山学院女子短期大学）・鈴木公啓（東京未来大学）

指定討論者：渡邊芳之（帯広畜産大学）・北村英哉（関西大学）

6 各種電子化検討小委員会（中村真）

これまでの活動に関する報告がなされた。

7 選挙管理委員会（堀毛一也副理事長）

平成 24 年度 日本パーソナリティ心理学会選挙結果報告について

1) 選挙台帳の作成

選挙規程第 3 条に基づき、平成 24 年 4 月 20 日時点の名簿（マイページによる）および会費納入状況に基づき選挙台帳が作成された。

2) 理事・監事選挙

6 月 23 日（土曜）に選挙管理委員 4 名（同一名記載のため）が集合し（日向野は欠席）、開票作業をおこなった。

有効投票数は 116 通、無効投票数 17 通（封印なし締切後到着）であった（投票率：約 18%）

理事選挙有効票 576 票

監事選挙の無効票はなし

理事選挙結果

渡邊芳之	当選
小塩真司	当選
坂元章	当選
中村真	当選
菅原健介	当選
向田久美子	当選
森津太子	当選
菅原ますみ	当選
堀毛一也	当選
佐藤達哉	当選
浮谷秀一	当選
内藤まゆみ	当選
藤田主一	当選
松田英子	当選
加藤司	当選
有光興記	当選
松田浩平	当選
山崎晴美	当選
青柳肇	当選
二宮克美	当選

監事選挙結果

岡田努	当選
陶山智	当選

3) 理事長・常任理事選挙

投票総数は 19 票、すべて有効投票
理事長選挙

浮谷秀一 当選

常任理事選挙

中村真 当選

松田英子 当選

加藤司 当選

小塩真司 当選

山崎晴美 当選

二宮克美 当選

松田浩平 当選

4) 選挙管理委員会からの提案

総会で会則の改定や選挙規程の見直しが必要だと考えていることが報告された。

II 日本心理学諸学会連合

1 日本心理学諸学会連合について（浮谷秀一理事長）

6月17日の定例理事会が開催され、国資格問題など、その内容について説明がなされた。
加えて、3月27日に実施した院内集会についての詳細な情報が報告された。

2 心理学検定について（松田英子）

明日実施される。申込者数はほぼ目標に達し、順調に進んでいる。

III 第21回大会準備状況について（家島明彦大会準備委員長）

準備はおおむね順調に進んでいる

IV 事務局報告（加藤司）

1 ドメイン移管の件

移管は終了した

2 会員からの問い合わせ

過去2年間にさかのぼり、学会の抄録内容を修正したい旨の申し出がなされ、第20回大会のHPで修正原稿を掲載した。

V 「パーソナリティ心理学ハンドブック」について（加藤司事務局長代理報告）

出版に関する報告がなされた。

VI 20周年記念出版について（浮谷秀一理事長）

会員に購入金補助をする予定である。（仮称）「20年史記念出版小委員会」を立ち上げ、この委員会で検討する予定である。

VII その他

なし

審議事項

1 選挙規程の問題点に関する件（堀毛一也副理事長）

(1) 副理事長の選出

選挙管理委員会の提案を受け、今後検討を続けることになった。

(2) 理事長の任期について

理事長から理事長の任期・理事長の選出方法など、時間をかけて見直す予定であった旨が告げられ、今後、検討を続けて、文言として定めることになった。

2 2011年度決算・2012年度予算に関する件（山崎晴美）

(1) 2011年度決算

雑収入に関する修正を前提に、承認された。

(2) 2012年度予算案

若干の修正を加えたうえで、承認された。

3 第105回常任理事会議事録承認に関する件（加藤司）

承認された。

4 新入会員に関する件（加藤司）

(1) MLで承認済み

院生会員16名、一般会員4名が追認された。

(2) 新規希望者

別紙の新入会員希望者8名が承認された。

(3) 退会希望者

10名の退会が承認された。

5 名誉会員推挙に関する件（向田久美子）

繁多進氏を推薦する手続きが進められ、承認された。

名誉会員に関する会則に関して、本年度開催される島根大会にて提案され、承認された場合、改定された会則に照合するよう「名誉会員推挙に関する内規」に関しても、改定することが承認された。

6 退会処分に関する件（加藤司）

MLで報告した通り、前回の常任理事会の承認を得て、28名を退会処分とした。承認された。

以上、新入会希望者（ML承認済み）の承認を受けて、8月24日現在、会員総数は900名（一般会員604名、院生会員282名、学生会員6名、名誉会員7名、賛助会員1名）である。

7 その他

なし